

琉球大学学術リポジトリ

沖縄県マルチメディアアイランド構想について

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 南方資源利用技術研究会 公開日: 2014-10-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 七尾, 淳也 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002017437

沖縄県マルチメディアアイランド構想について

県企画開発部マルチメディア推進室

~~室長 七尾 淳世~~

仲宗根

1. 構想の概要

2. 進捗の状況

3. 我が国の状況（「平成11年度通信白書」より）

4. 今後の展望

沖縄県マルチメディアアイランド構想

1. 基本的な考え方

沖縄県においては、沖縄経済の自立化と産業振興の推進等に取り組んでいる。とりわけ、距離的な不利性を克服でき、かつ、今後のリーディング産業と考えられる情報通信産業を中心とした産業として位置付け産業の振興と集積を図っている。このような状況を踏まえ、沖縄が日本におけるマルチメディアにおけるフロンティア地域となることを目指し、「沖縄県マルチメディアアイランド構想」を策定・推進する。

2. 達成目標

本構想の目標は以下の3点である。

- 1) 沖縄における情報通信産業の振興・集積による自立的な経済発展
- 2) 高度情報通信技術を活用した特色ある地域振興の道標
- 3) アジア・太平洋地域における情報通信分野のハブ機能を通じた国際貢献

3. 具体的数値

目標を明確化するため、情報通信産業における雇用発生「2010年：2.45万人」を具体的な到達目標の目安として取り上げる。

—24—

4. 重点分野

- 1) 情報サービス・・・・・・コールセンター産業など
- 2) コンテンツ制作・・・・・・エンターティメント産業など
- 3) ソフトウェア開発・・・・・・G I S産業など

5. 構想を構成する4本柱

同構想は以下の4つの柱で構成されている。

- 1) 情報通信産業の集積 (県内企業の育成、国内外の企業誘致、集積支援)
- 2) 技術・人材の集積 (人材育成、研究開発)
- 3) 先進的アプリケーションの集積 (県民生活の向上、地域産業の振興)
- 4) 情報通信基盤の集積 (地域情報通信ネット、次世代情報通信ネット)

6. 産業集積戦略

- 1) 第1段階：集積の中核形成→ 情報サービス（コールセンター分野からスタート）
 - ①要件：通信基盤、施設設備、要員確保
 - ②施策：通信コストの低減化、施設設備の整備、人材育成、要員確保
- 2) 第2段階：高度化→ コンテンツ制作（エンターティメント分野からスタート）
 - ①要件：人材集積、施設設備
 - ②施策：人材育成（コンテンツ制作の支援）、施設設備の整備
- 3) 第3段階：ハイテク化→ ソフトウェア開発（G I S分野からスタート）
 - ①要件：人材集積
 - ②施策：人材育成（研究開発の支援）

7. 推進体制

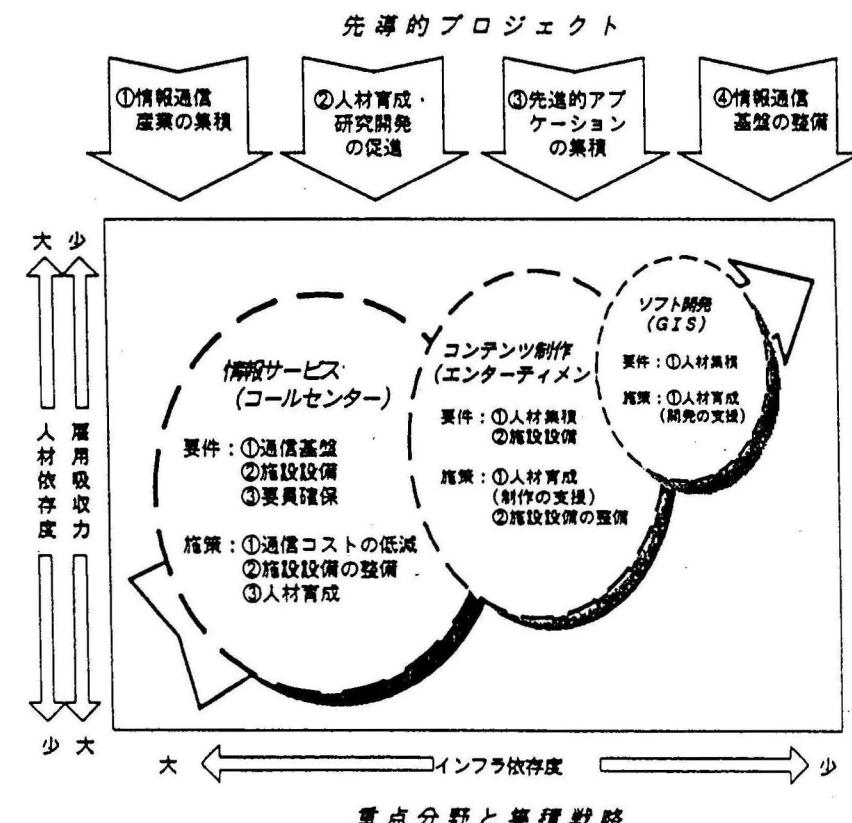
地域の産・学・行政・住民が一体となり意志・戦略を示すとともに、具体的な事業化等に大きな影響力・決定力を持ち総合的にプロデュースを行う極めて強力な推進体制「F R O M 沖縄推進機構(Frontier Region Of Multimedia Okinawa Initiative)」を創設する。

推進機構の役割は以下の3点。

- 1) 産・学・行政・住民が一体となり検討を深め確固とした意志と明確な戦略を提示。
- 2) 地域の意志と戦略のもと国・自治体・民間等に働きかけ予算化や投資を促進。
- 3) 県内情報通信産業をリードし、調査・実験の段階からビジネスチャンスを創出。

8. 先導的プロジェクト

構想を推進する原動力を形成するとともに、次のステップへ踏み出すエネルギーを発生・供給するため、短期に実施すべき先導プロジェクトを選定し、着実に実施する。



コールセンター産業と県内の他の産業との関連

県内の他の産業、とりわけ流通販売や製造加工等の活性化を考えた場合、「情報」「物」「金」の循環を産み出すことが重要であろう。

コールセンター産業は県内産業の総合的な顧客窓口として各種情報を流通させる要となりうるものであり、県内の他の産業への波及効果も大きいと考えられる

